自治研修あきた №76

発 行 平成30年 3月 発行者 秋田県自治研修所 TEL 018(873)7100

「自分で考えるということ」

秋田県自治研修所長 松田 博

今年のNHK大河トラマ「西郷どん」を興味深⟨見ている。 元来歴史好きで戦国時代や幕末維新に は関心を持っているが、今年注目しているのは、番組の初期にやっていた薩摩独特の教育制度「郷 中(ごじゅう)教育」である。この郷中教育が千変万化する幕末の状況の中で的確に判断する能力を 養ったという点で、人材育成について大きなヒントがあるように思う。

幕末期の薩摩は曲折はあったにせよ、大きく進路を誤らずに野太く維新までの政局をリードし、また、 明治日本の中心となる人材を多く輩出している。江戸時代後期の優れた藩校である会津の日新館 や、強烈な思想家、教育者であった吉田松陰が主宰する松下村塾とは全くタイプの違った人材育成 法である。

「郷中」とは方限(ほうぎり・今でいえば大規模な町内会位のエリアか)を単位として6歳から10代半 ばくらいの少年が年代ごとに集まって、先輩のもとで学びあう組織であるが、自分たちで書や儒学を習 う先生を決め、習った内容を口頭で発表しあうやり方で、リーダーは「頭」(かしら)といい、「詮議」(せ んぎ)と呼ばれる徹底したケーススタディを行う。例えば「エゲレスが突然攻めてきた。どうするか。」とい うような様々な事態を想定した設問に対し解決策を徹底的に考え議論するという方式を実践した。同 様なやり方は戦国時代までは全国的に行われていたようだが、江戸時代には薩摩独自のものとして 行われてきた。西郷と大久保は、同じ郷中で鍛えられ育ってきた。

ヒントになるのは、郷中では解決策を自分で考えて、徹底的に議論するということ。日本の組織の 欠点といわれる空気で意思決定するということの対極にあり、急激に変化する状況の中で的確に判 断する力を養うには、このような「型」にはめない教育が有効なのではないか。日本人は「型」にはまっ た教育により特定のパラダイムを金科玉条としてしまい、シフトできないという特性を持っているように思 える。

しかし、日本の歴史の中でも、例えば日露戦争を戦った海軍の名参謀秋山真之は村上水軍など 往古の海賊の戦い方を参考として丁字戦法を編み出したように一部では型にはまらない発想が行わ れてきており、我々は自ら考える素質は本来持っていると思う。

自治研修所でも徹底的に議論するやり方、自分で考えて判断する力を養う研修をもっと取り入れ ていきたいと思っているが、各職場で行うOJTもまた同様かと思う。

県職員が置かれる業務の環境は今後ますます厳しくなっていくが、自分で考え抜く力を養って難局 を乗り切ってほしいと願っている。

平成30年度研修実施計画

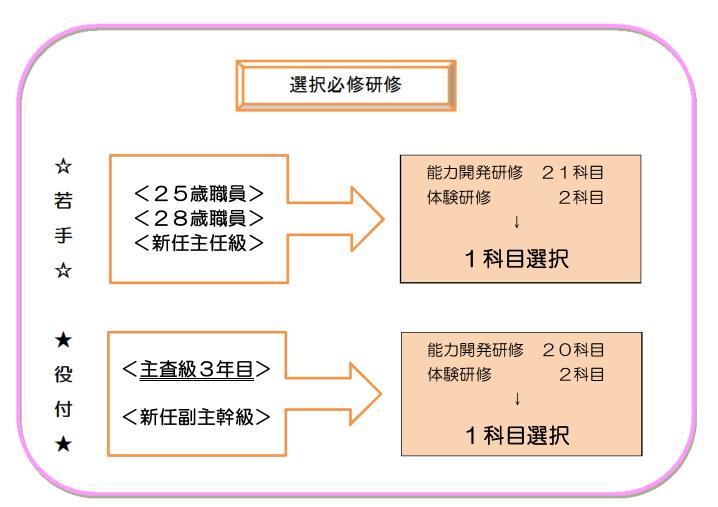
平成30年度から大きく3つの点が変わります。

1 県の本庁課室長に昇任した職員を対象に、新たに「課長級職員研修 II」 (1日研修)を実施します。

講師:田中 正博【株式会社田中危機管理広報事務所 代表取締役社長】 研修テーマは「危機管理とメディア対応」。

情報発信の重要性を認識し、マスメディアの特性や行動基準を理解することにより、 平時や危機発生時に適切かつ効果的なマスメディア対応ができるようになります。

- 2 県の主査級3年目職員を対象に、新たに選択必修研修を実施します。
 - → これにより、役付職員の選択必修研修対象者は、主査級3年目職員と新任副主幹級職員となります。



3 能力開発研修を見直し、新規3科目、内容リニューアル4科目を含む32 科目で実施(体験研修は県職員のみ対象)します。

※研修計画の詳細については、4月に発行する予定の「平成30年度研修概要」でご確認ください。



新規・リニューアル研修のお知らせ

能力開発研修で新たに実施する3科目と、リニューアルして実施する研修のなかで、 内容を大幅に変更する1科目をご紹介します。

新規

異文化理解と



講師:阿部 祐子

【(大)国際教養大学 日本語プログラム代表 教授】

文化や習慣の違いを理解し、コミュニケー ションの基本を学ぶことで、自らの視野や

価値観を広げ、業務を 円滑に進めることがで きるようになります。



新規

情報発信力

強化



講師:佐藤 佳弘

【(株)情報文化総合研究所 代表取締役】

杂杂杂杂杂杂杂杂杂

SNS等ソーシャルメディアの現状やリスクを理解し、その活用方法を学ぶことで、効

果的・積極的な情報 発信ができるようになります。



新規

レジリエンス 向上

. . . .

講師:石崎 芙美子

【(一社)日本経営協会 講師】

レジリエンスの基本スキルを理解し、自ら

の目標実現に向けて 諦めずに、しなやかに 行動できるようになり ます。



変更

政策形成 能力向上



講師:後閑 徹

【(株)行政マネジメント研究所 専任講師】

人口問題を題材とした演習をとおして、政 策形成技法を修得し、有効で実践的な政

策を立案すること ができるようにな

ります。



図書貸出ランキングを公開!!

自治研修所では県職員の皆さんの自己啓発を支援するため、 図書の貸出をしています。貸出可能な本の数は1,614冊。 今回は平成23年度からの累計貸出ランキングをご紹介します。



◆能力開発(文芸書除く)◆

順位	名称	著者	貸出回数
1	伝え方が9割	佐々木 圭一	16
2	いつやるか?今でしょ!	林 修	14
3	置かれた場所で咲きなさい	渡辺 和子	10
	聞くカ 心をひらく35のヒント	阿川 佐和子	10
	人生がときめく片づけの魔法	近藤 麻理恵	10
	新幹線お掃除の天使たち	遠藤 功	10

過去7年間に渡るランキングですので、ベストセラーが多かった時期に貸し出された本が上位を占めています。ですが、良い本は、時間が経ってもその内容は 色褪せないもの。

図書室には、皆さんからの貸し出しの申し込みを待っている本がたくさんあります。

この機会に、自治研修所の蔵書の中から、気に入った本を借りてみてはいかがでしょうか。





1位は、佐々木圭一氏の伝え方のスキルを解説した本でした。今も色褪せない内容であり、伝えることに苦手意識がある方は是非一読を。

2位には、林修氏が自らの豊富な体験を 凝縮して書き上げた人生の指南書がランク イン。タイトルは流行語にもなりましたね。

3位は4冊あります。まずは、渡辺和子氏 自らの人生訓を記した本。心迷うすべての 人に向けた言葉は心に沁みますね。

続いて、阿川佐和子氏の本は、名インタ ビュアーでもある彼女の"聞く極意"を記した ベストセラー。経験からの言葉には説得力 があります。

近藤麻理恵氏の本は整理・整頓・収納 術のスキルをまとめたもの。仕事でも、家庭 でも幅広く活用できます。

そして、遠藤功氏の本は、有名になった 新幹線の車内清掃を行う人々を紹介した 一冊となっています。

図書の貸出案内

~県職員には図書の貸出しをしています。

■図書貸出申込書を提出してください。



- ○ひとり3冊まで貸出し
- ○貸出期間21日以内
- ○送料無料



本を借いている職員の中で、50 冊以上借いている人が6人、その うち150冊以上借いている人が 1人います。すごいですね! 皆さんも是非!!

派遣研修受講後レポート

~自治大学校第一部課程第 129期研修~

(自治大学校での派遣研修に参加した職員から、受講後の感想を書いていただきました。)

秋田県自治研修所 主査 羽賀 淳一

寄宿舎の最上階に位置する自室からは、 澄み渡った青空の下に、くっきりと映え る富士山を望むことができます。新たな 寮生活のスタートを歓迎してくれている ように思えました。

入校して間もなく感じたことは、諸先輩から聞いていた自治大学校のイメージ とのギャップです。バドミントン部など の様々なクラブ活動が立ち上がり、講義



終了後は運動して絆を深め、夜は酒を酌み交わすとのことでしたが、伝統ある茶道部を除いては、演習や政策立案研究の打ち合わせに追われ、ほとんど活動を行うことができませんでした。

ただ、そのような中においても、毎週定期的に開催した、各地のグルメを味わう「フロア会」や、近県の研修生が企画してくれた、「山梨ツアー」や「筑波山登山ツアー」は、研修生同士の仲が深まるとともに、大変良いリフレッシュになりました。

研修は講義と演習で構成され、講義は、民法や行政法など法律科目のほか、各分野で活躍されている方の話を聞くことができ、充実したカリキュラムになっています。また、様々な演習の中で一番大きなウェートを占める政策立案研究は、5~6名のグループをつくり、約5か月間かけて報告書を作成しプレゼンを行います。時には考え方が衝突する場面もありましたが、同じ目標に向かって議論を深めたことで、何にも代え難い達成感を得ることができました。

第129期は52名の研修生が参加しております。この仲間を全国各地に持つことができたことは、今後の県職員生活や人生における財産になりました。このような貴重な機会を与えていただき、大変感謝しております。

秋田県自治研修所 主任 五十嵐 香

昨年10月20日に自治大学校第一部課程第129期生として入校し、3月16日に 無事に卒業式を迎えました。自治大学校は総務省設置による地方公務員に対する唯一の 中央研修機関で、東京都立川市に立地しています。北海道から鹿児島県までの研修生 52名(男性40名、女性12名)が寄宿舎で共同生活を送りながら、約5か月間の研 修を終えたところです。

研修は講義と演習に分類されます。演習は、事例演習(テキスト型・研修生持寄型・ディベート型)、条例立案演習、RESASを活用したデータ分析演習、スピーチ演習、模擬講義演習、政策立案研究の6科目で、3~6名程度のグループを組んで行います。 職種や経歴の違う研修生が集まり、侃々諤々の議論をしながら演習を進めていきますので、大いに刺激を受けるものとなりました。

研修以外の活動としてクラブ活動がありました。私は、週1回2時間程度、裏千家の 先生にお稽古をつけていただける茶道部に入部しました。演習や試験勉強との両立が大 変でしたが、盆略点前やお茶会での作法等、一通り身につけることができ、厳しい研修

生活の中での癒やしの一時となりました。

来年度以降、第一部課程の研修期間は約4か月に短縮されると聞いています。最後の長期研修参加という貴重な機会を与えていただいたことに心から感謝しています。今後も、今回の経験を十分に活かし、全国の仲間との絆を大切に、業務に励んでいきたいと思います。



(前列左が五十嵐主任、最後列中央が羽賀主査)

編集後記

自治研修あきたNo. 76をお届けします。

「人の行く裏に道あり花の山」投資の世界では有名な格言ですが、仕事にも当てはまると思います。誰もが行く道を一緒に行っては、ゆっくりと花を楽しめない。誰も通らないところを歩く勇気があれば、いずれゆっくりと花を楽しむことができる。そこには当然リスクもありますが、困難な仕事を進んで引き受けることで、いずれ素晴らしい花を見ることができるでしょう。ただその道を歩むためには、基礎となる能力・スキルが身についている必要があります。研修所で行っている研修は、そんな皆様のきっとお役に立ちます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。